



ブックンだより

2016年7月号

ブックンが来る日

7月6日、7月20日

清和保育園→横武小学校→合岩小学校→合岩中学校→清高保育園

7月7日、7月21日

宇島保育園→宇島小学校→さくら乳幼児園→三毛門小学校→りとるばんぷきんす

7月8日、7月22日

ちづか保育園→千束小学校→恵光園→八屋小学校→みのり保育園

7月13日、7月27日

ほほえみ保育園→黒土小学校→角田小学校

7月14日、7月28日

わこう保育園→松若保育園→大村小学校→山田小学校

7月15日、7月29日

角田中学校

夏休みの読書感想文課題図書、読書感想画の指定図書を図書館にそろえています。期間中は一人でも多くの人に利用してもらうため、貸し出しを1週間にします。

7月の終わりのブックンは返却（本を返す）だけです。

★課題図書から

生きる 劉連仁の物語



発見時の新聞写真

1958年2月、凍えるような寒い日、北海道の当別町の山から突然一人の中国人が発見されました。劉連仁さんです。

劉さんは、戦争末期に中国から北海道の炭鉱に連行されました。ここでは、昼夜2交替の12時間労働、食事時間以外に休憩時間も与えられず、その食事も1回に饅頭1個というひどいものでした。その上、暴力の制裁。このままでは殺されるという危機を感じて、仲間4人とともに逃亡しました。

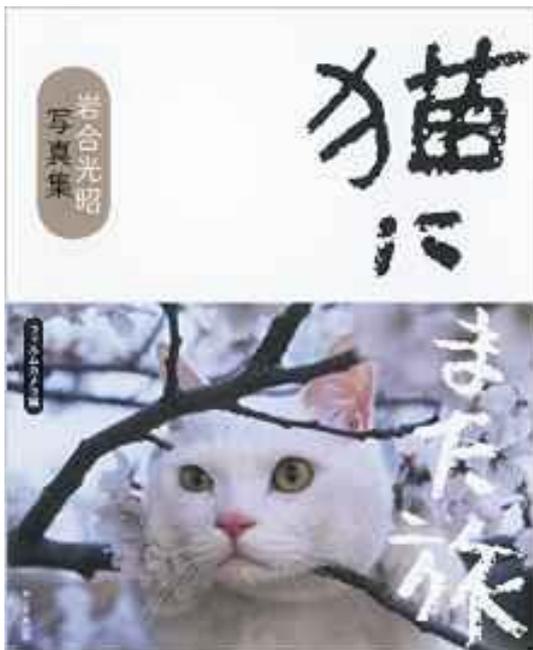
逃亡後は、北海道の山野をさまよい歩きますが、捕まれば殺されると思い、人に会うことを恐れてほら穴を掘り、「穴から穴へ」の生活を続け、冬になれば極寒の地になる北海道の山奥で、日本の敗戦も知らずに13年も生き抜きました。

茨木のり子の「りゅうりえんれんの物語」（詩集「女がひとり頼杖について」=図書館にあります=）という長い詩もあわせて読んでもらいたいと思います。

7月の図書館カレンダー（赤がお休み）

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

この本よんだ？（猫の本）



猫が大人気です。「吾輩は猫である」や「世界から猫が消えたら」など猫を主役にした本はたくさんあります。そこで図書館にあるチョットかわった猫の本を少し紹介します。

★猫にまた旅

猫の写真といえば、岩合光昭。岩合さんが選んだその年々のベストショットがたっぷり。

★ねこはすごい

熊より強い、3メートル以上跳ぶ、人の死を予知、家電も使えるetc. 知られざる「ねこのすごい力」に迫る。ねこ研究の第一人者が「猫島」での長年のフィールドワークで得た、ねこのふしぎな生態や行動などの最新情報を紹介。著者は北九州のいのちのたび博物館元学芸員。猫の島で有名な新宮の相島にも詳しい。

★猫本屋はじめました

猫好き作家＝金井美恵子&久美子さん、横尾忠則さん、そして銀座の画廊主・桜井さんという豪華な顔ぶれとのトークほか、吾輩堂お勧めの猫本ガイド、アホな店主のドタバタ。

★あなたの猫の偏差値は？

「知的能力」「環境適応能力」「生命力」の分野に分かれた偏差値診断が35問。



ブックンにないほんは図書館でかりてね。